

一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2020年5月）議事録

日 時：2020年5月15日（金）～2020年5月22日（金）

場 所：電子メールによる審議

議 長：鈴木政登理事長

出席者：鈴木政登理事長、

碓井外幸、西平賀昭各副理事長、

武政 徹常務理事、赤間高雄、井福裕俊、

太田 真、大野 誠、栗原 敏、後藤勝正、

小山勝弘、須田和裕、永富良一、成田和穂、

浜岡隆文、前田清司、宮内 卓、宮川俊平、

和気秀文各理事、井上 茂、清田 寛、

小林康孝、定本朋子各監事、

徳田修司第75回大会長、

加藤 公第76回大会長

欠席者：下光輝一、新開省二、須永美歌子、竹森 重、

田中喜代次、中里浩一各理事

【審議事項】

1. 前回議事録の承認（鈴木理事長）

理事会開催中に前回の理事会議事録の内容確認を行い、訂正等がある場合には申し出て頂くこととし、理事会終了後に承認することにした。

2. 令和2年度決算見込みについて（鈴木理事長）

資料に基づき、令和2年度決算見込みについて、報告された。収入84,071,302円は見込みであるが、予定通りの収入となれば、令和2年度決算見込の収支差額は、1,094,648円の黒字となる旨、説明された。

3. 令和3年度予算案について（鈴木理事長）

資料に基づき、令和3年度予算案について報告された。新型コロナウイルス感染拡大防止策の影響で、学会年次大会（鹿児島大会）のWeb形式への変更やスポーツ医学研修会中止により、令和3年度予算原案収入額は59,090,500円となり、令和2年度決算見込み額（84,071,302円）の約70%（24,980,802円の減額）になることが報告された。一方、支出の大会開催予算額16,178,000円については、令和2年度決算見込み額（38,744,636円）の42%に留まることが報告された。また、新規事業企画に伴う費用の明細が報告された。令和3年度予算案の収支差額は、653,500円の赤字が見込まれるが、今後も学術活動等の自粛が継続されれば、それに伴う経費の減額が予測され、赤字額は縮小することが見込まれる旨、加えられた。

4. 令和3年度事業計画案について（鈴木理事長）

資料に基づき、令和3年度事業計画案についての報告があった。審議の結果、承認され、9月の社員総会に諮ることになった。

5. 新型コロナウイルス感染症予防対策に伴う日本体力医学会健康科学アドバイザー®称号の有効期間の延長について（碓井称号委員長）

日本体力医学会健康科学アドバイザー®称号の有効期間は5年間で、この間に10点の研修単位取得が必要

であるが、新型コロナウイルス感染症予防対策施行により、スポーツ医学研修会、各地方会および関連学会が中止になり、単位取得が困難になった。そのため、有効期間5年間に2020年度分を含めないことが提案され、承認された。

6. 第33回日本体力医学会賞選考委員会選考結果について（前田学会賞選考委員長）

資料に基づき、選考結果が報告された。4月27日にメール審議にて開催された学会賞選考委員会において、学会賞【体力科学】、学会賞【JPFMS】および【奨励賞】候補の3件を選考したことが報告され、承認された。

【学会賞（体力科学）】

68巻-3号-①（体力科学）

石川みづき、三浦 哉、東 亜弥子、出口憲市、田村靖明

一過性の上肢の有酸素性運動と骨格筋電気刺激の併用が動脈ステイフネスに及ぼす影響

【学会賞（JPFMS）】

8巻-5号-6

Masato Suzuki, Noriko Hozumi, Hidefumi Waki, Masaki Kimura, Tetsuya Seino, Naoko Onuma, and Daisuke Shindo

Effects of combined therapy of ACE inhibitor and exercise on cardiovascular functions and morphology of the heart and kidneys in SHR

【奨励賞】

8巻-1号-5（JPFMS）

Kei Tsukioka, Ko Yamanaka, and Hidefumi Waki
Effects of bilateral lesions in the central amygdala on spontaneous baroreceptor reflex in conscious rats

尚、例年、年次学会大会時に“日本体力医学会学会賞受賞論文表彰および講演”が企画されているが、今年度の第75回（鹿児島）大会は“Web学会大会”に変更されることに伴い、学術委員会より、上記3件の“学会賞受賞論文表彰および講演”は来年度に延期するが、副賞（賞金）は今年度授与し、当該年度決算とする旨、提案され、了承された。

7. 編集委員の追加について（後藤編集委員長）

資料に基づき、下記2名の編集委員の追加が提案され、承認された。

向井直樹（筑波大学准教授）

植原健二（聖マリアンナ医科大学講師）

尚、この2名の編集委員としての任期は、現行編集委員の残り任期と同じになる。また、「ORCID」および「Publons」に関する説明があったが、この件に関しては継続審議となった。

【報告事項】

1. 各種委員会報告

1) 編集委員会（後藤編集委員長）

資料に基づき、以下の内容が報告された。

1. 「JPFMS」誌, 「体力科学」誌の投稿・掲載状況
＜投稿状況＞

(2019年9月1日～2020年4月23日)

「JPFMS」誌：新規投稿36編（内海外4編）

※前年同期間：新規投稿35編（内海外4編）

4/23現在, 審査中17編（採択12編, 不採択5編,
原稿取下げ2編）

※受付不可5編（投稿規定に沿わない等で原稿
返却, 国内1編, 海外5編）

「体力科学」誌：新規投稿34編

（依頼総説1編, 依頼教育講座3編含む）

※前年同期間：新規投稿42編

（依頼教育講座2編含む）

4/23現在, 審査中12編（採択9編, 不採択13編）

＜発行予定＞

「JPFMS」誌

○Vol. 9, No. 3（2020年5月25日発行）

掲載論文6編

○Vol. 9, No. 4（2020年7月25日発行）

掲載論文6編

○Vol. 9, No. 5（2020年9月25日発行）

4/23現在, 掲載論文2編

「体力科学」誌

○Vol. 69, No. 3（2020年6月1日発行）

掲載論文6編

○Vol. 69, No. 4（2020年8月1日発行）

4/23現在, 掲載論文3編

2. 国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）
2020年度ジャーナルコンサルティングに応募
DOAJへの収録支援

2) 渉外委員会（永富渉外委員長）

資料に基づき、2019-2020年度国際学術交流奨励
賞の募集要項案が報告された。

3) 第75回（鹿児島）大会の進捗状況
（徳田第75回大会長）

新型コロナウイルス感染症収束の目途が立たない
現状に於いて、第75回日本体力医学会大会（鹿児島
大会）の通常開催は困難であるとの判断から、Web
による大会開催に変更する旨の報告がなされた。

会 期：2020年9月24日（木）～26日（土）

4) 第76回（三重）大会の進捗状況
（加藤第76回大会長）

資料に基づき、大会の準備状況等について報告さ
れた。

会 場：三重県総合文化センター

会 期：2021年9月17日（金）～19日（日）

テーマ：「知の継承と共有」

持久走大会コース：三重大学構内